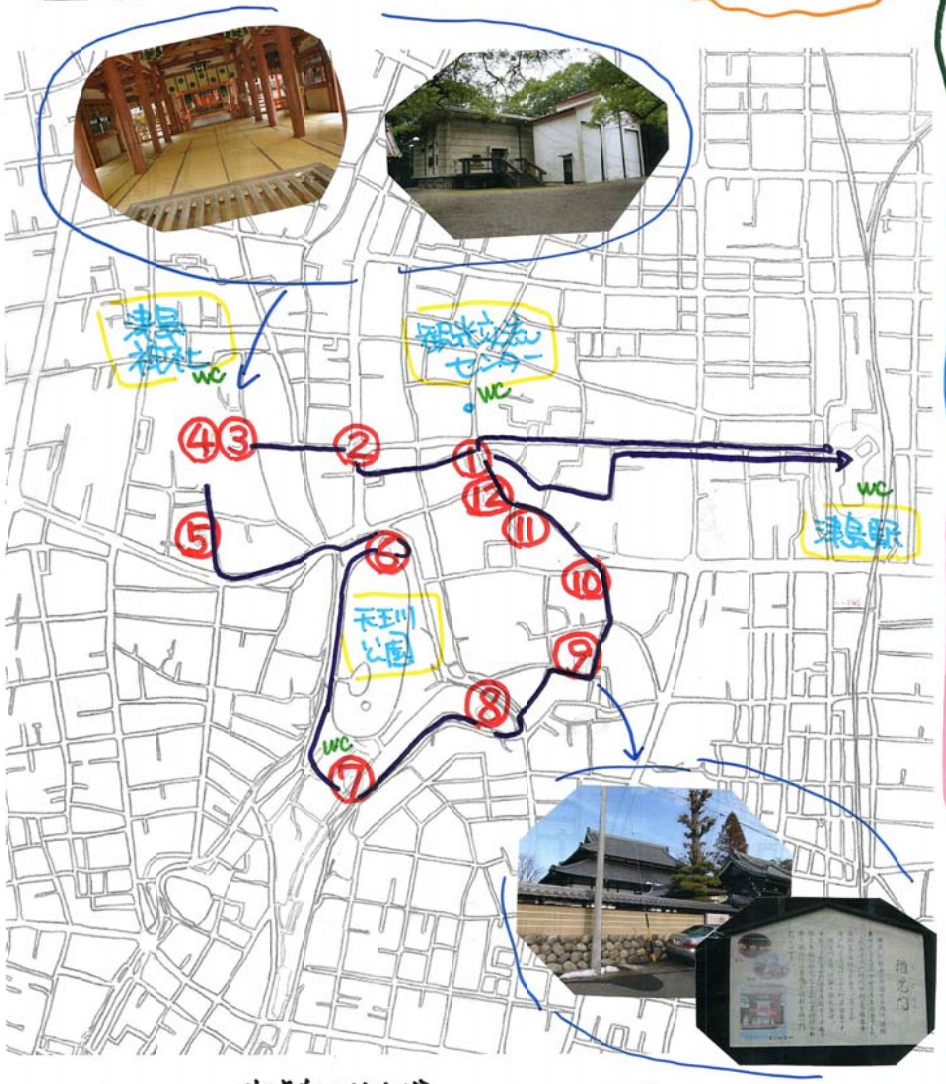
津島四大まつり舞台めぐり

歴史ある神事3種と最近30年の藤まつりの四季を楽しむ「津島の四大まつり」の舞台ウラを巡ります。

オススメ
- まつり好きの人
- 健脚な人



① 堀下神社（井戸）
津島神社にお詣りした際に立ち寄る所。これを「通様所」と呼びます。

② 池幡の交差点
かつては天王川の川底でした。今は、秋まつりの山車の車輪やからくり奉納をこの場所で行います。

③ おみと橋門
旧暦二月一日に行うおみと祭り。燃える大松明が、この橋門をくぐります。

④ 稚児打廻しを行う拝殿
天王祭・宵祭の前夜に行う神事「稚児打廻し」を行う舞台。

⑤ 居森社
秋まつりの際、向島（須賀町・中野町・上之町の3地区）の山車が集まります。

⑥ 御旅所（天王橋みと）
天王祭の時、牛頭神体がおみこしで渡御する場所。ゆえに御旅所と呼びます。

⑦ 藤まつり
春の藤まつりの会場。木陰があり、藤の木陰で夏でも楽しめます。

⑧ 東河戸
天王祭の準備やまもれら外の提灯点灯、乗り込みなどの舞台です。全国巡しても この風景は見ることができません。

⑨ 瑞泉寺・稚児門
津島四寺と苗字の一つである大橋氏の菩提寺。神輿のなりかわりである稚児が ここから乗船した。天王祭の主役をつとめます。

⑩ 道路元標
津島の地図をつくる時の中心点。みつけられるかな？

⑪ 坂口の井戸
津島の生活の源。本町前にある公共の井戸です。

⑫ 津島神社 参宮道
上街道と下街道の合流点。

めぐみ.K，　やまもとけんじ，つついやすし　作成